

公益社団法人青森青年会議所
2017年度 ねぶた事業室 事業計画書

担当副理事長 倉橋 龍太郎
室長 倉橋 龍太郎

【基本方針】

青森ねぶた祭は、価値観や性別、世代を超えて誰でも参加可能な青森が誇る伝統文化であり、本体・囃子・跳人が三位一体となったときの盛り上がりは比類なく、広く市民に愛されている祭りです。1966年より運行団体の一つとして参画している青森青年会議所は、今年度50回目の運行を控え、青森ねぶた祭の魅力を最大限発揮し続け、将来にわたって祭りに愛着と誇りをもてるよう、可能性を探求し次の世代へ継承する責務があります。

まずは、青森ねぶた祭のもつ魅力を広げるために、“響く”を一年間のテーマに据えた事業を展開し、祭りへ愛着と誇りを育みます。そして、ねぶたの後継者育成のために、跳人体験を中心とした祭り参加のきっかけ作りを行い、祭りに参加する市民を増やします。また、メンバー一丸で取り組むために、ねぶた実行委員会の設立と運営を行い、運行の質を高めます。さらに、運行の安全を祈願するために、運行参加者を集めたねぶた出陣式を行い、運行に向け意識を統一します。そして、青森の魅力を未来に継承するために、迫力満点のねぶたと心躍る囃子の音色、熱気溢れる跳人が三位一体となった、第50回青森青年会議所ねぶたの出陣を行い、青森固有の価値を伝播します。また、青森青年会議所ねぶたの関係者に感謝と決意を伝えるために、出陣50回記念式典を行い、青森青年会議所ねぶたの在り方を示します。さらに、祭り全体の可能性を広げるために、祭りの調査・分析をもとに、提言書の策定と発信を行い、市民が祭りに参加しやすくなるよう働きかけます。

市民一人ひとりが青森ねぶた祭に今まで以上に誇りと愛着をもつことは、大きな運動の原動力となり、青森ねぶた祭はさらに魅力を増し飛躍して行きます。そして、市民の多くが、魅力ある祭りがある青森は素晴らしいと心の底から思えるようになったとき、まちづくりに対する意識が一段上がり、地元愛と活気に満ちた魅力溢れるまち青森を実現します。

【事業計画1】

1	事業名	ねぶたの後継者育成事業【公2】
2	目的	ねぶたの後継者育成のため
3	内容	跳人体験を中心とした祭り参加のきっかけ作り

【事業計画2】

1	事業名	ねぶた実行委員会の設置・運営【事業外】
2	目的	メンバー一丸で運行に取り組むため
3	内容	ねぶた実行委員会を設置・運営する

【事業計画3】

1	事業名	ねぶた出陣式事業（7月例会）【公2】
2	目的	運行の安全を祈願するため
3	内容	ねぶた出陣式の実施

【事業計画4】

1	事業名	青森ねぶた祭参画事業【公2】
2	目的	青森の魅力を未来に継承するため
3	内容	第50回青年会議所ねぶたの出陣

【事業計画5】

1	事業名	青森青年会議所ねぶた出陣50回記念式典事業（10月例会）【他2】
2	目的	青森青年会議所ねぶたの関係者に感謝と決意を伝えるため
3	内容	出陣50回記念式典の実施

【事業計画6】

1	事業名	将来を見据えたねぶた提言書事業【公2】
2	目的	青森ねぶた祭全体の可能性を広げるため
3	内容	将来を見据えたねぶた提言書の策定・発信